

市立学校空調機新設・更新について

- ・教育委員会事務局教育施設課

- 市立学校における空調機について、
小学校給食調理室における空調機の新設設置
及び
平成23～25年度に設置した普通教室空調機の更新
をPPP/PFI手法も含めた検討を進めています。
- 新設及び更新にあたっては、
学校運営に支障なく実施する必要 があります。

市立学校空調機新設・更新について



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

・現状説明 ※給食調理室は未設置※

	普通教室
設置学校数	市立小学校・中学校の503校
空調方式	主にガスヒートポンプ方式【更新校数:446校】 ※一部学校で電動ヒートポンプ方式【更新校数:18校】
設置年度	平成23年度～平成25年度
管理方式	【ガスヒートポンプ方式】 メーカーによるフルメンテナンス契約(単年度契約) 【電動ヒートポンプ方式】 教育委員会事務局による直接管理

市立学校空調機新設・更新について



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

・想定している学校数、事業内容等①

	給食調理室	普通教室
新設・更新対象となる学校数	市立小学校 271校(271室)	市立小学校・中学校 464校(9,746室)
空調方式	ガスヒートポンプ方式(GHP) 電動ヒートポンプ方式(EHP) 外調機型(電動ヒートポンプ)	検討中
想定事業内容	・新設に係る設計業務 ・空調機の 新設 ・維持管理	・更新に係る設計業務 ・空調機の 更新 ・維持管理

市立学校空調機新設・更新について



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

・想定している学校数、事業内容等②

	給食調理室	普通教室
事業手法	<ul style="list-style-type: none">・設計設置業務を含むリース・PFI・エネルギーサービスプロバイダー・従来方式 などから検討中	<ul style="list-style-type: none">・設計設置業務を含むリース・PFI・エネルギーサービスプロバイダー・従来方式 などから検討中
総事業費想定額 (従来方式)	5,643,000千円	24,729,800千円

・想定している学校数、事業内容等③

	給食調理室	普通教室
検討の課題／ 重視する点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に支障のない作業 ・部屋の形状、仕様が学校毎に異なる ・調理釜など高温熱源の存在 ・設置までの整備期間 ・給食調理室内の環境改善効果 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に支障のない作業 ・更新までの整備期間、更新までの間の修繕 ・他の空調機器整備も見据えたスケジュール
スケジュール <small>※最短での希望スケジュールです。検討の結果、採用される事業手法によっては時期が変更になる可能性があります。</small>	R7年度 事業者の決定 R11年度 設置完了	R7年度 事業者の決定 R11年度 設置完了

・ 公民グループ対話でお伺いしたい事項

- 課題や重視する点を踏まえた、最適な事業手法について
- 「給食調理室空調機新設」及び「普通教室空調機更新」をまとめて一本の業務又は分割して発注した際の規模感について
- 機器の実際の耐用年数を見据えた整備スケジュールについて
- 空調機新設・更新時における空調方式毎（GHP、EHPなど）のメリット／デメリットについて
- その他、自由な発想による事業について